

2024年度 事業報告書

(事業期間：2024年4月1日～2025年3月31日)

認定NPO法人 大阪精神医療人権センター

第1 事業の概要

2024年度も、「精神医療および社会生活における精神障害者の人権を擁護する活動を行うとともに、それを通じて精神障害者に対する社会の理解を促進し、障害の有無にかかわらず、人間が安心して暮らせる社会に一步でも前進させるべく貢献すること」を目的として、①声をきく（個別相談活動）、②扉をひらく（訪問活動・情報公開）、③社会をかえる（政策提言）の3つの活動を行いました。また、2022年精神保健福祉法改正により導入された入院者訪問支援事業（2024年度施行）を大阪府・大阪市・堺市から受託しました。

第2 「声をきく」活動の実施状況

1 個別相談活動の実施

精神科に入院中の方やそのご家族等からの個別相談（電話相談・手紙・面会）を実施しました。

《相談件数（のべ件数）》

単位：件

年度 手段	2024	2023	2022	2021	2020	2019	2018	2017	2016
1 手紙	143	286	500	444	329	200	60	33	36
2 FAX	0	0	3	4	7	2	1	0	2
3 メール	53	19	64	49	105	41	14	44	4
4 電話	592	1,017	931	776	830	885	1021	854	830
5 面会	32 9病院	43 8病院	15 3病院	24 4病院	7 4病院	179 17病院	171 19病院	102 15病院	39 12病院
6 オンライン面会	20 4病院	39 5病院	39 4病院	29 5病院	7 2病院	—	—	—	—
合計	840	1,404	1,552	1,326	1,285	1,307	1,267	1,033	911

※電話相談内容は「別紙1」、／「面会実施詳細状況」は「別紙2」参照

(1) 電話相談

毎週水曜日午後に、2名で相談を受けられる体制で行っています。水曜日以外にも土曜日（月1回）行なっています。

【傾向と分析】

電話相談の数は、2024年度は大幅に減少しています。2023年度までは水曜日（基本）以外の電話に対しても事実上相談に應じていましたが、2024年度は水曜日（基本）以外は電話相談に対応しない方針に変更したこと等によると思われます。

水曜日以外の電話に対応しないこととした理由は、「電話相談日＝水曜日」と案内しているため、他の曜日にかかってくる電話のほとんどが入院者からの相談ではないこと、水曜日以外は事務作業に専念する方針としたことにあります。

(2) 面会・オンライン面会

大阪府内の精神科病院に入院中の方を対象に、実地での面会やオンラインでの面会を行いました。オンライン面会は、研究事業（協力病院：榎坂病院・大阪さやま病院・久米田病院・七山病院・ねや川サナトリウム・浜寺病院）の一環として実施しました。

※研究事業：

厚生労働行政推進調査事業補助金（障害者政策総合研究事業）「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を推進する政策研究」分担研究「精神障害者の権利擁護に関する研究―入院中の精神障害者の権利擁護に関する研究―」

【傾向と分析】

2024年度は面会制限の解除がすみ、多くの病院で対面面会が可能となりました。ただ、新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症の院内流行により、短期間の面会制限は続いています。オンライン面会から対面面会への移行を希望される方もいました。

(3) 手紙・メール・FAX

手紙やメールでの相談を実施しました。

【傾向と分析】

手紙での相談は、2022年度は500件、2023年度は286件でしたが、2024年度は143件に減少しました。もっとも、メールでの相談は増加しており、特に新規の相談はメールが多いと感じます。

2 個別相談活動の基盤整備と強化

(1) 相談情報管理システム構築

当センターは、精神科病院に入院中の方や入院歴のある方等の個人情報を扱う団体であり、個人情報の取扱いに、特に留意すべき立場にあります。また、虐待等から生命や身体を保護する目的で個人情報を扱わなければならない場面も考えられます。

ボランティアの方も含めて様々な方が関与しますので、組織として、個人情報の取扱いをルール化して情報漏洩や流出を防止することが必要です。2023年度に引き続き、三木由希子さん（NPO法人情報公開クリアリングハウス理事長）からの助言を受けて検討会議を開催しました。

※日本財団助成事業

(2) 経験交流会等の実施

当センターの個別相談活動者でプロジェクトチームを設置し、2024年度の経験交流会の企画検討を行い、4月、11月に2度経験交流会を行いました。

経験交流会の目的は活動者全員が顔を合わせ連携する機会を提供するとともに、活動者が日々の活動実践で感じたことなどを共有し、経験知を互いに分け合う機会と位置付けています。各回の経験交流会では、人権センターが1990年から実施してきた面会活動の経験知をまとめた面会活動の手引きを活用した交流会を実施しました。活動者それぞれが経験（これでよかったのか等）してきたことをグループワーク形式で交流しました。グループメンバー内で暗黙知になりがちな活動者それぞれの経験を出し合いました。

面会手引きを元に振り返ることで、当センターが行う面会活動の長い経過の中で培ってきた「面会での姿勢」を共有し、活動する中で「悩む場面」などの対応を確認しました。

活動者それぞれが活動する意義を考え、経験のある人からの話を聞きながら活動へのモチベーションを高めることができました。

交流会参加者より

- みなさんの具体的な経験を聞くことができてよかったです。
- 面会活動経験者の自助グループ的役割もありそうですね。あとは、手引きを活用してそもそも論を確認するといった軌道修正の場としても機能するように思いました。
- 活動の際や終わってからも抱えていたもやもやを出しあい、それでも（もやもやはするけれども）面会を継続することが重要であることを確認でき、しんどい話もありながらも前向きな気持ちになれる場だったように思いました。

※日本財団助成事業

(3) 「面会活動の手引き」の作成・活用

2023年度に完成した「面会活動の手引き」について、各地の人権センターや自治体等からの依頼に基づき提供しました。

【各地の人権センターなどからの感想】

- 面会についての考え方、どのような姿勢で臨むかの理解、面会の具体的な流れや手続きの理解、面会時の具体的な対応方法の理解、新人研修の教材として、面会活動に従事を希望する方は全員必読だと思います。
- ボランティアに参加される方に最初に読んでもらえると、活動をイメージしやすくなり良いと思いました。
- 日頃培ってきた技術や手順は一旦脇に置いて臨むという点など、また何をするかではなくどんな態度でいるのかが大切だと感じました。

3 入院者訪問支援事業／精神科アドボケイトについて

(1) 入院者訪問支援事業の受託・業務開始

① 受託に関する協議及び契約締結

2022年に精神保健福祉法改正により導入された入院者訪問支援事業（2024年4月施行）について、当センター内でも受託の可否につき話し合いました。受託については、積極・消極いずれの意見もありましたが、大阪府・大阪市・堺市（以下「大阪府等」という）と協議・調整を重ねた上で、2024年11月に契約を締結し、事業開始となりました。

② 訪問支援員への説明会開催協力

入院者訪問支援事業に関しては、大阪府等の主催で、令和5年度・6年度の研修会参加者（要件該当者）向けの説明会が開催され（計3回）、当センターも同説明会に出席し、協力を行いました。同説明会に参加された方のうち44名が支援員に登録されました。

2024年12月23日 午前10時～12時	場所：大阪府こころの健康総合センター	対象者 以下のいずれかの研修の修了者のうち、訪問支援員として業務に従事することを希望する者 ①令和5年度・令和6年度：入院者訪問支援事業訪問支援員養成研修修了者（主催：大阪府・大阪市・堺市） ②令和5年3月31日付障精発0331第1号厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課長通知の別記
2025年1月23日 午前10～12時		
2025年1月26日 午後2時～4時		

		で示されている「入院者訪問支援員養成カリキュラム」に準拠して実施された研修の修了者
--	--	---

③ 電話相談及び訪問支援員派遣の開始

同事業を実施するに際し、新たに電話番号を取得し（入院者訪問支援事業専用）、2024年11月中旬より電話受付を開始し、同年12月より訪問支援員を派遣しています。

2024年度はのべ18名から電話相談があり、7名に派遣しました。

④ 実務者会議への参加

入院者訪問支援事業における訪問支援員や訪問支援を受け入れる精神科病院の関係者等が、定期的に事業実施における具体的な課題や支援のあり方等について協議し、その結果については適宜、推進会議へ報告する等、事業の円滑な推進と更なる充実を図る場として、実務者会議が開催されています（主催者：大阪府等）。当センターも以下のとおり参加しました。

実務者会議では、電話相談の工夫や訪問支援員の派遣に関する問題点の確認等が行われました。

2025年1月27日 午前10時30分～11時30分	web	大阪府・大阪市・堺市・当センター（山本・東）・大阪精神科病院協会所属の病院職員（看護師・相談員）
2025年2月20日 午前10時～11時	web	
2025年3月12日 午後4時～5時	web	

⑤ 推進会議への参加

大阪府等、医療機関及び当センター等が、実施要領や事業計画の策定、実務者会議から報告される事業の実施状況や課題等をもとに事業の進め方について検討し見直しを図る場として推進会議が設置されています。大阪府等では大阪府精神科医療機関療養環境検討協議会を推進会議と位置付けることとされており、2か月に1回の頻度で当センターも推進会議に参加しました（後掲第3の1（1）参照）。

推進会議では、訪問対象者の限定（大阪府等では市町村長同意の医療保護入院者に限定・年度1回に限定等の制約がある）について委員から見直しを図るべきとの問題提起がなされました。

⑥ 研究事業への協力

厚生労働行政推進調査事業補助金（障害者政策総合研究事業）「地域精神保健医療福祉体制の機能強化を推進する政策研究」精神障害者の意思決定及び意思表示支援に関する研究に、理事及び運営会員を研究協力者として協力派遣しました。

⑦ 大阪府議会への請願

大阪府等における入院者訪問支援事業には課題が積み残されています。そこで、対象者拡大と予算の確保、病院訪問活動の位置づけの明確化と充実、精神科病院の虐待事案に対する調査の進め方の3点をテーマに、府議会へ2025年3月4日、請願を

提出しました（紹介議員は民主ネットの野々上愛議員、共産の石川たえ議員）。残念ながら、3月24日の本会議で不採択となりました（賛成は民主ネットと共産）。

第3 「扉をひらく」活動の実施状況

1 病院訪問活動の実施

（1）療養環境サポーター活動

《病院への訪問活動》

精神科病院の療養環境の改善に向けて病院訪問活動を行なっています。具体的には、月に1回程度のペースで大阪府下の精神科病院を訪問し、訪問後、参加者で報告書を作成し、大阪府精神科医療機関療養環境検討協議会において構成員の間で議論をしたうえで、確定した意見を病院に送付します。コロナ禍では病院訪問活動が停止しましたが、2023年10月より病院訪問を再開しています。2024年度は、以下の通り病院訪問を実施しました。

4月26日東香里第2病院、5月13日大阪赤十字病院、7月8日結のぞみ病院、9月19日丹比荘病院、10月11日和泉中央病院、11月13日関西医科大学総合医療センター、12月11日大阪精神医療センター、1月16日木島病院、3月27日ほくとクリニック病院。病院訪問を通じて、以下のような課題が確認され、要望しました。

- ・退院に希望の持てる情報提供や支援をして頂きたい。
- ・診察について：診療情報計画書を入院時には必ず説明し、本人にサインをしてもらうべき。
- ・退院支援を進める取り組みの一環として預かり金の収支明細の発行や金銭の自己管理ができる環境（鍵付きロッカーの各人毎の設置など）を進める努力を検討して頂きたい。
- ・院外外出の機会：閉鎖的に処遇され病院の外の自由な空気や社会的刺激から遮断される環境が長期化すると病気の症状の慢性化を進めるのではないか。外出に向けた働きかけや支援を検討して頂きたい。
- ・衛生面：トイレの便器の下に新聞紙が敷いてあった。隔離室のシーツ交換が不十分。
- ・入浴が週2回というのは少ないのではないか。
- ・意見箱が使いづらい環境にあった。患者は、行動制限され、療養上の希望や不満・意見が言いづらい環境にある。人権を尊重しながら治療環境を改善するために意見箱の存在は大きい。

《大阪府精神科医療機関療養環境検討協議会》

療養環境サポーター活動を通じて精神科病院の療養環境を検討する大阪府精神科医療機関療養環境検討協議会が2か月に1回開催され、当センターから2名の委員（副代表の山本深雪及び理事の東奈央）が参加しました。

日時	2024年5月24日、7月26日、9月27日、11月22日、 2025年1月24日・3月14日 いずれも14:00～16:00
会場	大阪府こころの健康総合センター（大阪市住吉区）
構成機関等	大阪精神科病院協会／大阪精神科診療所協会／日本精神科看護協会大阪府支部 ／大阪精神保健福祉士協会／大阪弁護士会／大阪精神医療人権センター／大阪 精神障害者連絡会／大阪府精神障害者家族会連合会（だいかれん）／大阪府社会 福祉協議会／大阪府保健所長会／大阪府（健康医療部保健医療室地域保健課及 び大阪府こころの健康総合センター）／大阪市（大阪市こころの健康センタ ー）／堺市（健康部精神保健課及び堺市こころの健康センター）／学識経験者

内容	①療養環境サポーターによる訪問及び報告書の検討 ②病院に対するフィードバックの方針検討、療養環境改善に向けた協議 ③入院者訪問支援事業における推進会議として、実施報告や課題の検討
----	---

(2) 医療観察法病棟訪問

法律専門職である弁護士と当センターの活動参加者が連携、協力して、入院中の方と面会し、当センターが長年蓄積してきたノウハウや情報を提供し、相談を受けるとともに、法的観点からの助言を行ってきました。コロナ禍以降停止しており、再開を検討していますが、2024年度も実施できませんでした。

2 病院訪問活動の基盤整備と強化

～訪問活動の説明会と療養環境サポーターの推薦～

コロナ禍期間中はサポーターによる病院訪問ができなかったこと等から、新たに協力していただけるサポーターの養成研修を行い、受講者の中から新たにサポーターとして大阪府等に推薦しました。

実施日時	2024年8月3日午後1時～4時
場所	大阪市立生涯学習センター（大阪駅前第2ビル）
内容	黒田研二さんからの講義『療養環境サポーター養成研修』 ・日本の精神保健医療の動向と特徴 ・大阪府精神科医療機関療養環境検討協議会・療養環境サポーター制度の成立の経緯 ・大阪精神医療人権センターの活動と療養環境サポーターの意義 山本深雪さんからの講義 ・大和川病院事件での取り組み ・入院中の患者の権利に関する宣言：大阪府精神保健福祉審議会（2000年5月19日）
参加者数	33名
参加者の声	・精神科医療と出会った時の違和感や疑問を思い出すことができました。 ・療養環境サポーター事業の成り立ち、具体的な活動、現在の課題（サポーターが減っていること）など、よくわかりました。事業の実際の活動を伺い、病院看護師やスタッフへの支援が必要なこともあるという視点に気づかされました。

※ 大阪市ボランティア活動振興基金助成

3 630調査の情報公開請求（対象：大阪府・大阪市・堺市）

2024年度の630調査について、大阪府知事に対する情報公開請求により大阪府内（大阪市・堺市含む）全ての精神科病床のある医療機関についての情報開示を求めました。病院訪問活動の基礎データとして活用しています。

第4 「社会をかえる」活動の実施状況

1 権利擁護システム研究会・講演会等

(1) 権利擁護システム研究会

権利擁護システム研究会とは、精神科医療の制度的・構造的課題点や精神科病院の治療文化を「かえる」ためのアプローチを検討する場です。

年度毎にテーマを設定して講師・ゲストスピーカーからの話題提供をもとに参加者同士が意見交換を行い、問題の所在や背景事情を探究し、改革（制度も含む）に向けて検討し、その結果を意見書やニュース等として発信しています（2017年度から開催）。これまでのテーマは、医療保護入院、身体拘束、長期入院、精神科病院における治療文化を変えるためにすべきこと／できること、家族等でした。

2024年度は、「病床削減」をテーマとしました。日本は大量の精神病床を抱え、そのことが長期入院や人権侵害の温床と言われています。3回目まではオンライン開催、4回目は会場（大阪産業創造館）とオンラインを併用し、病床削減の重要性を再認識するとともに、病床利用率の低下、日本精神科病院協会が病床削減の必要性を認めるなど、新たな情勢の到来を共有しました。

コーディネーター 竹端寛さん（運営会員・兵庫県立大学）
原昌平さん（理事・ジャーナリスト等）

参加費：4,000円 割引参加費：2,000円（1回のみ参加費 1,500円）

日程	講師	テーマ・内容	参加者
【第1回】 2024年9月7日 (土) 14~16時	原昌平さん (当センター理事) 有我讓慶さん (当センター理事)	「医療関係の法律と診療報酬制度のあらまし」 医療法や診療報酬制度の概要、病床削減に向けた診療報酬での誘導、病床利用率の低下状況等	44名
【第2回】 2024年10月19日 (土) 14~16時	増田一世さん (公益社団法人やど かりの里理事長)	「共同創造の精神科医療改革 ベルギーの取組から学ぶ」 民間精神科病院の多いベルギーにおける病床削減改革の実践等	47名
【第3回】 2025年1月25日 (土) 14~16時	智田文徳さん (未来の風せいわ病院 理事長)	「病床削減を実現した病院から」 未来の風せいわ病院（岩手県にある民間精神科病院）における病床削減の取組（30年間で45%削減）、日本の人口推移に見合った病床検討計画等	47名
【第4回】 2025年3月16日 (日) 14~16時	櫻本章司さん (櫻木病院理事長・ 日本精神科病院協会 常務理事)	「精神科医療の今後の方向性」 新たな地域医療構想を踏まえた日本精神科病院協会における議論状況等	53名

参加者の声

- ・入院中に違和感を抱いた出来事の、根となっている仕組みや文化が学べてよかったです。
- ・精神科医療の改革が続けている現場の取り組みを聞いて参考になりました
- ・医療・地域・制度がうまく機能し、誰もが自分が決めたところで平等に人権が守られた生活ができるようになると良いと思います。

2 講演会・シンポジウム

(1) 第25回定時総会記念講演会

定時総会記念講演会として、藤井渉さんからの基調講演をいただきました。

【テーマ】「役立たずの論理に抗う実践～戦争・動員・福祉」	
日時	2024年6月15日（土）14:20～16:00
会場	エルおおさか南館（大阪市中央区）
参加者数	65名
参加費	500円
内容	選別の論理、障害者が選別序列に置かれた歴史、そうした選別の論理がいまの福祉にどう跳ね返っているのか、ともに考えてみませんか。 講師 藤井渉さん（面会ボランティア・日本福祉大学社会福祉学部准教授）
参加者の声	・軍隊と障害者の視点を歴史から解説して下さったので良かった。 ・今回のお話しが、現状制度の不備を感じる点にことごとく繋がり、あらためて歴史や世界及び日本の情勢をしっかりと見ていかないといけないと思った。

(2) センター設立39周年講演会

設立39周年記念講演会として、『精神科病院訪問のこれまでとこれから』というタイトルで、当センターがこれまで取り組んできた病院訪問活動（現在の名称：療養環境サポーター活動）について、黒田研二さん（西九州大学教授、精神科医）からの基調講演を踏まえ、報告や検討を行いました。

【テーマ】「精神科病院訪問のこれまでとこれから」	
日時	2024年11月9日（土）13:30～17:00
会場	エルおおさか（大阪市中央区）
参加者数	65名
参加費	500円
内容	当センターの病院訪問活動の歴史や影響について 基調講演 テーマ「精神医療オンブズマン活動」 黒田研二さん（西日本大学健康福祉学部教授、精神科医等） パネルディスカッション コーディネーター：竹端寛さん（当センター運営会員・兵庫県立大学教授） パネリスト ・井上博幸さん（看護師・日本精神科看護協会大阪支部） ・山本深雪さん（当センター副代表・当事者） ・黒田研二さん（同上、大阪府精神科医療機関療養環境検討協議会座長）
後援	DPⅠ日本会議、日本障害者協議会、全国精神保健福祉会連合会、地域精神保健福祉機構、全国精神障害者地域生活支援協議会、日本精神保健福祉士協会、日本精神神経科診療所協会、大阪精神障害者連絡会、大阪府精神障害者家族会連合会、大阪精神科病院協会、大阪精神科診療所協会、大阪精神保健福祉士協会、大

	阪弁護士会、近畿弁護士会連合会、神奈川精神医療人権センター、埼玉県精神医療人権センター、東京精神医療人権センター、兵庫県精神医療人権センター
参加者の声	・精神科病院の課題を自分事としてとらえる必要がある、責任があることを改めて感じました。基本は患者さんへのリスペクトと人としての尊厳を守ること。基本・本質を忘れない、学び続けることが大事だなと思いました。 ・現場の方々の率直なご意見を聞けて、理解が深まりました。コーディネーターの先生の、鋭いご質問が、とてもわかり易くて良かったです。

※ SOMPO福祉財団助成

(3) 「精神病院つばき荘」解説ブックの発行

2022年10月7～8日に開催した（資金はクラウドファンディングによる調達）、精神科医くるみざわしん脚本による演劇「精神病院つばき荘」について、クラウドファンディング利用時のリターン（10,000円以上の寄付者）として、解説ブックを発行し、送付しました。

3 権利擁護活動の拡充に向けて

(1) 全国ネットワーク会議（オンライン3回・対面開催1回）

各地の精神医療人権センターが集まり、テーマを設定して会議を実施し、課題や解決策等を検討し、報告をまとめました。

【参加団体】 どころ（北海道）、千葉精神医療人権センター、神奈川精神医療人権センター、兵庫県精神医療人権センター、おかやま精神医療アドボケイトセンター、檸檬のこころ（広島）、大阪精神医療人権センター

	日程	テーマ・内容
第1回	2024年9月2日 （オンライン）	参加団体の交流（講師なし）
第2回	2025年1月21日 （オンライン）	ボランティアコーディネートについて 講師 河合将生さん（NPO組織基盤コンサルタントoffice musubime）
第3回	2025年2月18日 （オンライン）	資金調達について 講師 河合将生さん（同上）
第4回	2025年3月8日 （対面開催）	今後の全国ネットワークのあり方について 講師 河合将生さん（同上）

※日本財団助成事業（2023年度延長）

(2) 『各地の精神医療人権センターの取り組みから～精神科入院者の権利擁護について～』

冊子作成

全国ネットワーク会議に参加している団体を含む各地の人権センター（北海道、東京、埼玉、神奈川、大阪、兵庫、岡山）の取り組みを紹介した冊子を発行して配布しました。

※日本財団助成事業

(3) 他の地域への権利擁護活動の拡大に向けた取り組み

千葉	2024年8月25日	千葉精神医療人権センター設立集会（千葉県社会福祉センター）
当センターより山本深雪さん、原昌平さんを講師として派遣しました。 会場68名、オンライン77名参加。 千葉精神医療人権センターは9月7日に設立総会を開いて正式に発足し、電話相談、個別面会などの活動を始めています。		
愛知	2024年11月20日	愛知精神医療人権センター設立に向けたセミナー（イーブルなごや）
当センターより山本深雪さんを講師として派遣しました。会場40名。 愛知精神医療人権センターは2025年4月に設立されました。		
奈良	2025年1月15日	奈良県精神障害者地域生活支援団体協議会つくる会で権利擁護に関する研修（大和郡山市民交流館）
当センターより山本深雪さんを講師として派遣しました。会場47名。奈良県でも人権センターを作る動きが始まっています。		

このほか、九州でも精神医療人権センター設立に向けた集会の開催の動きがあり、地元の有志と検討を行ないました。2024年度での開催には至りませんでした。九州でも人権センター発足に向けた声が上がっています。

(4) 連続セミナーの実施

「あなたの地域にも精神医療人権センターを」と題して、2025年3月18日から23日にかけて計5回、セミナーをオンラインで開催しました。全国各地から参加者があり、関心を持つ人々とつながり、今後の権利擁護活動の拠点づくりの種まきとなりました。平日夜や休日の開催でしたが、熱心に参加されていました。各地で人権センターを作りたい・拡充していきたいという思いがあふれる場となりました。

講師、テーマ、参加人数は次の通り。

開催日 (2025年)	担当者・内容	参加者
3月18日（火）19:00～	山本深雪さん：人権センターの電話相談 原昌平さん：人権センターのつくり方	45名
3月19日（水）19:00～	東奈央さん：法的支援 原昌平さん：人権センターのつくり方	38名
3月20日（祝）16:00～	山本深雪さん：人権センターによる病院訪問 原昌平さん：人権センターのつくり方	37名
3月22日（土）17:00～	角野太一さん：人権センターの個別面会 小グループに分かれて意見交換	31名
3月23日（日）13:00～	有我譲慶さん：人権センターによる退院支援 ※小グループに分かれて意見交換	29名

【参加者の感想】

- ・グループミーティングを持っていたいただき、情報交換できたことはとても貴重でした。
- ・面会の流れや主訴のデータなど示していただけたおかげで、よりイメージができるようになったと感じます。
- ・専門職の方からのお話を聞けて勉強になりました。

※日本財団助成事業

(5) 国立精神・神経医療研究センター（NCNP）への技術提供

当センターが今まで関与してきた研修でのグループワークの内容の整理や、当センターが経験知として蓄積してきた内容について国立精神・神経医療研究センター（NCNP）に、当センターの個別相談活動での長年の経験にもとづく技術提供などを行ってきました。

2024年度のNCNPが実施する精神保健に関する技術研修（精研研修）では、各自治体が入院者訪問支援事業を行う際に必要となる入院中の方への情報提供や、当センターが実施してきた経験交流会などの活動者（支援員）へのフォロー体制の必要性などを伝えることができました。

※国立精神神経医療研究センター（NCNP）委託事業

(6) 他団体との協力

大阪弁護士会、大阪精神障害者連絡会、大阪精神障害者家族会連合会、DP I 日本会議など他の権利擁護団体との協力・連携を行ないました。

4 心神喪失者等医療観察法についての取り組み

(1) 共催企画「医療観察法を廃止しよう！全国集会」（2回）

心神喪失者等医療観察法と精神科医療における虐待・人権侵害に対する問題提起のための全国集会の共催企画、講師派遣、情報発信を行いました。

<共同呼びかけ>

心神喪失者等医療観察法をなくす会

国立武蔵病院(精神)強制・隔離入院施設問題を考える会（2024年7月解散）

認定NPO法人大阪精神医療人権センター

心神喪失者等医療観察法（予防拘禁法）を許すな！ネットワーク

日時	2024年7月14日(日) 13:30～16:30
会場	南部労政会館 第5・6会議室（東京都品川区大崎）
参加費	500円
参加者数	120名 会場：68名 リモート参加：52名
内容	・テーマ 「医療観察法が剥奪した未来と人権」 ・講師：浅野 詠子さん（ジャーナリスト） 追悼～緒先賢心さん（医療観察法元対象者）・山本眞理さん（精神障害者権利主張センター・絆） ・特別報告：滝山病院事件取り組み報告 神出病院事件取り組み報告 日弁連の取り組みなど（弁護士・鐘ヶ江聖一さん） など

日時	2024年12月22日(日) 14:00～16:30
会場	文京シビック 区民会議室 4階ホール（東京都文京区春日）
参加費	500円
参加者数	103名 会場：65名 リモート参加：38名
内容	・テーマ 医療観察法と精神障害者 「医療観察法という名の終身刑、人体実験はやめるべきだ！」 ・講師：田島宏一さん（医療観察法対象者） ・基調報告：池原毅和さん（弁護士）

	・特別報告：医療観察法元対象者緒先賢心さんを追悼（友人より） 緒先さん遺稿集紹介と伊藤時男さん国賠訴訟の報告 （大阪精神医療人権センター 有我讓慶さん） 対象者のご家族の話（弁護士・佐々木信夫さん） 滝山病院の取り組み報告（アクセスする会・細江昌憲さん）
--	---

5 国や自治体、他機関の会議等への参加

当センターの運営会員らが国や自治体等の各種会議等に参加しました。

- ・厚生労働行政推進調査事業補助金（障害者政策総合研究事業）「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を推進する政策研究」分担研究「精神障害者の権利擁護に関する研究」
- ・大阪府精神科医療機関療養環境検討協議会
- ・堺市精神保健福祉審議会
- ・大阪府社会福祉協議会権利擁護推進運営協議会

6 情報発信・広報

以下のような方法や手段を使って、当センターの活動等に関する情報発信や広報を行いました。

(1) ホームページ・SNS

ホームページやFacebookによる情報発信を行ないました。

(2) 人権センターニュース・メルマガ

ニュースは年4回発行、メルマガは随時発信しました。

(3) 動画の制作

人権センターを紹介する動画として、副代表の山本深雪さんのインタビュー動画を制作しました。

※SOMPO福祉財団助成

(4) 寄稿・講師派遣・後援共催企画等

別紙3のとおり

第5 活動の充実・強化に向けて

当センターの組織体制の整備と財政基盤の安定が課題となっており、日々の諸活動に加え、これらの課題の整理・検討に努めています。

拡大理事会と事務局会議を定期的で開催し、当センターの諸活動や運営について、運営会員や事務局との協議や情報交換などを行っています。課題により外部アドバイザーの助言などもいただきました。

社会保険労務士と顧問契約を締結し、事務局職員の人事・労務に関する調整を図りました。

第6 社員総会の開催状況（定時総会・臨時総会） 別紙4のとおり

第7 理事会の開催状況 別紙5のとおり

以 上

2024年度 電話相談内容

(※複数選択あり)

相談内容	詳細	件数(※)	占率(%)
(1) 報告・連絡・活動問い合わせ等	1 相談にのってもらっていることについて進展があった・解決した	6	1.0%
	2 退院した	0	0.0%
	3 上記以外の近況報告	42	7.1%
	4 面会調整	64	10.8%
	5 面会希望・問い合わせ	38	6.4%
	6 面会のお礼	5	0.8%
	7 手紙希望・問い合わせ	14	2.4%
	8 手紙のお礼	6	1.0%
	9 活動への意見・メッセージ	4	0.7%
	10 精神科病院や入院精神医療への意見	12	2.0%
	小計	191	32.3%
(2) 入院・入院継続	1 入院の経緯・入院時	21	3.5%
	2 必要性	25	4.2%
	3 説明	7	1.2%
	4 入院形態	8	1.4%
	小計	61	10.3%
(3) 退院支援	1 説明	9	1.5%
	2 相談	21	3.5%
	3 情報提供	10	1.7%
	4 家族	9	1.5%
	5 退院先	6	1.0%
	6 転院	7	1.2%
	7 その他	11	1.9%
	小計	73	12.3%
(4) 行動制限	1 隔離	11	1.9%
	2 身体拘束	7	1.2%
	3 外出	11	1.9%
	4 面会	6	1.0%
	5 通信	9	1.5%
	小計	44	7.4%
(5) 入院生活	1 病気・治療・薬	25	4.2%
	2 他科受診	2	0.3%
	3 私物管理	3	0.5%
	4 金銭管理	8	1.4%
	5 食事・おやつ	7	1.2%
	6 衛生	6	1.0%
	7 喫煙	0	0.0%
	8 使役	0	0.0%
	9 入院費・保険外費用	1	0.2%
	10 他患との関係・トラブル	11	1.9%
	11 職員に相談できない・相談することで不利益になるのではと不安	6	1.0%
	12 療養環境、その他	18	3.0%
	小計	87	14.7%
(6) 職員の対応	1 暴力	0	0.0%
	2 暴言	8	1.4%
	3 無視・放置	10	1.7%
	4 対応がおそい	5	0.8%
	5 審査会等への相談により不当な対応	1	0.2%
	6 その他、不適切な対応	30	5.1%
	小計	54	9.1%
(7) 退院後	1 住む場	5	0.8%
	2 収入	2	0.3%
	3 家事	0	0.0%
	4 就労・居場所	2	0.3%
	5 金銭管理	1	0.2%
	6 服薬管理	0	0.0%
	7 家族関係	5	0.8%
	8 その他	1	0.2%
	小計	16	2.7%
(8) 知りたいことがある	1 入院の種類や要件	2	0.3%
	2 精神医療審査会	5	0.8%
	3 社会資源	5	0.8%
	4 当センターの相談受付内容	3	0.5%
	5 当センターの活動内容	4	0.7%
	6 他の相談窓口	13	2.2%
	7 その他	14	2.4%
	小計	46	7.8%
(9) その他	1 その他	20	3.4%
	小計	20	3.4%
	合 計	592	100.0%

2024年度 面会活動の実施状況 (単位：件)

	面会件数		計
	実地面会	オンライン面会	
4月	1	3	4
5月	3	0	3
6月	3	2	5
7月	4	2	6
8月	1	1	2
9月	4	2	6
10月	1	2	3
11月	3	1	4
12月	1	2	3
1月	4	2	6
2月	1	2	3
3月	6	1	7
合計	32	20	52

(3) 寄稿・講師派遣・後援共催企画等

【寄稿・掲載】

発行日等	掲載誌	出版社	タイトル	執筆者
1月20日	「精神医療」第16号 特集 当事者運動と 生活のはざままで	エム・シー・ミューズ 書籍	当事者運動を続 けることと生活 のはざままで	責任編集・ 山本

【講師派遣】

開催日	テーマ・内容	主催	対応
5月29日	学生への講義 「ソーシャルワーカーの理論と方 法」web	岩手県立大学	西川・たに ぐち
6月11日	兵庫県入院者訪問支援員養成研修	兵庫県福祉部障害福祉課	榎原
7月17日	「精神科病院の経営危機」 web	パシフィックメディカル株 式会社	原
7月26日	入院者訪問支援研修	国立精神・神経医療研究セ ンター	角野・上坂
7月29日	入院者訪問支援員養成研修 web	静岡県健康福祉部障害者支 援局障害福祉課精神保健福 祉	山本
8月5日	入院者訪問支援事業運営研修研修	厚生労働省	上坂（オブ ザーバー）
8月7日	入院者訪問支援事業研修	国立精神・神経医療研究セ ンター	たにぐち・ 榎原
8月29日	R6 年度入院者訪問支援事業訪問 支援員養成研修	大阪府こころの健康総合セ ンター	榎原・たに ぐち・西川・ 角野
9月13日	虐待防止研修 web	（公益）住吉偕成会すみよ し生活支援センター	有我
9月20日	和歌山県入院者訪問支援員養成研 修	和歌山県精神保健福祉セン ター	角野・西川
9月27日	第59回全国大会・第23回学術 集会プレ企画	日本精神保健福祉士協会	西川
10月4日	総合講座「障がい者の人権課題～ 精神障がい者を取り巻く状況等 について～」	大阪府人権協会	山本
10月6日	香川県入院者訪問支援員養成研修	香川県障害福祉課	彼谷
10月7日	精神保健福祉士課程を検討する学 生への講義 web	県立広島大学	西川
10月10日	奈良県入院者訪問支援員養成研修	奈良県疾病対策課	角野・大倉
10月25日	第78回中国地方弁護士大会シン ポジウム 「精神科アドボケイト を考える」	中国地方弁護士会連合会	東・山本
10月28日	第2回入院者訪問支援員養成研修 web	静岡県庁障害福祉課精神保 健福祉班	山本
10月30日	WEB 「ボラがく」講座	大阪公立大学	山本

開催日	テーマ・内容	主催	対応
11月8日	愛媛県入院者訪問支援員養成研修	一般社団法人愛媛県精神保健福祉士会	彼谷・上坂
11月20日	愛知精神医療人権センター準備会を立ち上げ	NPO 法人わっぱの会、NPO 法人名古屋市成年後見センター	山本・有我
11月26日	精神保健福祉士課程を検討する学生への講義 web	県立広島大学	たにぐち
11月27日	北河内地域障害福祉担当職員研修 精神保健福祉法改正のポイント	北河内ブロック障害者福祉研究会	有我
12月6日	高知県入院者訪問支援員養成研修	高知県障害保健支援課	榎原
12月23日	日常生活自立支援事業 「精神障がい者の理解と関わり方について」	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会	関口
1月15日	奈良県つくる会 訪問活動・個別相談活動ほか	奈良県精神障害者地域生活支援団体協議会つくる会	山本
1月24日	長野県入院者訪問支援事業支援員養成研修	長野県健康福祉部	大西・上坂
1月31日	第2回入院者訪問支援事業研修	国立精神・神経医療研究センター	角野・彼谷・上坂
2月3日	第2回奈良県入院者訪問支援員養成研修	奈良県福祉保険部	角野・大倉
3月4日、5日	相談業務研修	堺市市民人権局	関口
3月8日	第2回福岡県入院者訪問支援員養成研修	福岡県精神保健福祉センター	上坂
3月9日	佐賀県入院者訪問支援員養成研修	佐賀県健康福祉部障害福祉課	角野・上坂
3月22日	入院者訪問支援事業は アドボカシー/権利擁護なのか	精神保健従事者団体懇談会	東
3月22日	COMBO リカバリーフォーラム分科会（録画方式）	地域精神保健福祉機構	上坂

【後援共催企画】

日付	タイトル (後援・共催企画する催し名)	主催団体等	備考
9月26日	身体拘束ゼロを目指し要件の拡大を止める院内集会	公益社団法人 全国精神保健福祉会連合会	後 援
2月13日	精神科病院にスマホの自由化を 国会院内集会	一般社団法人人権精神ネット	協 賛

2024年度 社員総会の開催状況

(1) 第25回定時総会

- 日時 2024年6月15日 13:00~14:20
- 場所 大阪府中央区北浜東3-14
エルおおさか南館 南ホール
- 参加者 運営会員総数 28名
出席運営会員数 27名（うち19名が会場出席、8名が委任状出席）
- 議事内容 第1号議案 2023年度事業報告書承認の件
第2号議案 2023年度事業会計活動計算書
（財産目録、貸借対照表、財務諸表の注記を含む）承認の件
第3号議案 2024年度事業計画承認の件
第4号議案 2024年度事業会計活動予算書承認の件
第5号議案 新役員選任の件

2024年度 理事会の開催状況

○日時	2024年	4月24日(水)	18:30~21:05
		5月22日(水)	18:30~21:10
		6月26日(水)	18:30~20:50
		7月24日(水)	18:30~20:50
		8月28日(水)	18:30~20:10
		9月25日(水)	18:30~21:00
		10月23日(水)	18:30~21:00
		11月27日(水)	18:30~21:00
		12月18日(水)	18:30~20:30
	2025年	1月29日(水)	18:30~20:50
		2月26日(水)	18:30~20:35
		3月26日(水)	18:30~21:15

○方法 会場とZOOMのハイブリッド開催

○内容 定時総会の議案の検討
 個別相談活動／訪問活動／政策提言についての報告と検討
 財務状況の情報共有／入院者訪問事業の検討
 支援者に向けた取組みの検討 など